



こうなると大変！ ジェネリック医薬品で医療費節約

今、国民医療費が年に約1兆円も増加していて、**国民皆保険制度の維持のため**の負担が増加しています。ジェネリック医薬品は、**安価で新薬と同等の治療効果が得られるおクスリ**です。**自己負担の軽減**だけでなく、**将来の世代にその負担を先送りしない**ためにも患者さん一人ひとりができることとしてジェネリック医薬品の使用が求められています。

ジェネリック医薬品に切り替えられるものをすべて変更した場合、**約1兆3千億円の医療費が節約できる**ともいわれています。

ますます増え続ける医療費をまかなうためには？

せっかくの素晴らしい皆保険制度かいほけんせいどそれをまかなうために健康保険料をあげれば払えない人が増えるでしょう。窓口負担もこれ以上あがると、病院にいけない人が増えてきます。



この世界に誇れる皆保険制度かいほけんせいどと医療技術の進展や、生活水準の向上などで世界で最も長寿な村のひとつになるなど素晴らしい成果を得てきたんじゃ。



ただ、同時に少子高齢化、医療費の増加も進んでいて医療を支える皆保険制度にも大きなほころびが生じてきているんじゃ。具体的に言うと、医療費は毎年2.3%づつ増えていき15年後、医療費は…

15年後はこうなる！

このまま村の医療費が増えていくと、村民一人あたりの医療費は現在の**約1.4倍、年468,000円**にもなります。

現在の一人あたり医療費
年333,000円

毎年2.3%づつ増加



GE薬協

検索

